

序

本書は「日本留学試験」の実施をふまえ、中級学習項目を再検討して生まれた教材である。

これまで「日本語能力試験」対策においては、機能語を中心とする文法学習に比重が置かれてきた。しかし、コミュニケーション能力の測定を目的とした「日本留学試験」では、従来の方法では対応しきれないことが明らかになった。

では、文法を軽視してもっばら問題を解く練習をすることによって「日本留学試験」への準備ができるのであろうか。

この問題についてはコミュニケーションを重視するどの教育者も「コミュニケーション能力を高めるためには、基礎的な文法のマスターもまた必要である」ことを主張している。

そこで、当社では小柳昇氏をチーフとする「教材開発室」を設置し、新たな教材の開発に着手した。そして完成したのがこの『ニューアプローチ中級日本語』である。

本書は、初級学習項目と「日本留学試験」を結ぶ橋渡しとして「中級」を位置づけ、コミュニケーション能力に必要な文法項目を厳選し、あわせてコミュニケーション能力の基礎となる表現を提示し、練習問題を随所に取り入れた。

また、本書が「日本留学試験」受験者向けのテキストとしてだけでなく、「日本留学試験」と同様にコミュニケーション能力を重視する日本語教育コースにおいても使用できるように、様々な分野から話題を選んだ。

「日本留学試験」の基礎固めに、またコミュニケーション力を養成するコースの中級教材として広く本書が利用されることを期待したい。

日本語研究社
代表 秋田 点

まえがき

現在の日本語教育においては、口頭でのコミュニケーションに重点をおいた初級教育に関しては教材も豊富で充実しているが、初級を修了した学習者が中級に進むにあたって2つの大きな問題に直面する。一つは「読み」の問題で、もう一つは「文型・表現」の問題である。

以前から指摘されているように、初級終了時にはまだ「読む」力はごく短いテキストに限られており、いくつかの段落で構成された文章を読むということには慣れていない。初級終了から中級への橋渡しとなる部分の読解教材の開発は急速に進められている。語彙、文法の点でやさしい文章を教材にして橋渡しにするとしても、そこでどのような「文型・表現」をどのように学習すべきかということについては、十分に検討されているとは言い難い。

これまでは「日本語能力試験」の<出題基準>によって中級・上級の文法というものに枠がはめられ、それが一つの指針のような役割を果たしてきたが、今後「日本留学試験」へと移行して行く中で、単に「知識」の詰め込みではなく、コミュニケーション能力を養うために何をどのように学習していくかが重要になってくるはずである。

このような状況を踏まえて、新しい流れに対応すべく編集された教科書が、この『ニューアプローチ中級日本語』である。本教科書を「基礎編」と名付けたのは、まさに上述した「読み」の問題、「文型・表現」の問題を解決するために、一つの方向づけを試みた教科書だからである。初級終了時から中級への橋渡し、そして、中級レベルの土台を固めるために、基礎となる文型・表現を体系的に学習しながら「読む」力をはじめ、4技能を総合的に高めていく。その後、どのような分野、方向へ進んでも、この「基礎編」で築いた土台の上に発展、応用ができることが期待される。

「読み」については、長さを1ページに収まるものにし、各課で身近な問題がユニークな視点で取り上げられており、興味をもって読むことができる。さらに応用発話、作文へと発展させる要素を十分に取り入れてある。「文型・表現」については、概念シラバス、機能シラバス、そしてコミュニケーションのための素材という3つの柱をたて、全体を通じてどんなことをどのように学習するのかが分かるようになっており、しかもそれらが段階的に導入され無理なく基礎力がつくように編集されている。

本教科書はメインで使用される教科書として、従来のような本文、文型・表現、練習問題という体裁をとりながらも、その中身はこれまでにない構成と内容になっている。これによって、中級レベルの基礎を固めるという目的が達せられることを願うとともに、各方面からご意見、ご批判を賜りながらさらにより教科書にしていきたいと考えている。

2002年3月

改訂版に寄せて

今回改訂版を出すにあたっては、誤字、脱字の訂正を中心に、本文設問、練習問題で使いにくかったもの、また文型・表現の解説で分かりにくかったものを書き直したが、本書の骨格となる部分はそのまま引き継がれている。

また、初版を使用された先生方から貴重なご意見をいただき、今回の改訂に反映させることができた。この場を借りて感謝申し上げる。

2003年3月
日本語研究社 教材開発室
室長 小柳 昇

「ニューアプローチ中級日本語 基礎編」の特徴

第1の柱（概念シラバス）

- ・中級の基礎として学習すべき文型・表現を10の概念で分け、教科書の前半と後半の2回に分けて20課で段階的に学習できるように工夫されている。
- ・前半では初級の復習もできるように構成されている。5課までは丁寧体で比較的平易な文章になっており、文法の面からも読みの面からも、初中級から中級へのスムーズな移行が可能である。

各課の基本構成 注1

- ・また、学習項目には全て例文（必要に応じて用法の解説や注意点など）が付いているので、教える側、教わる側双方にとって使いやすくなっている。

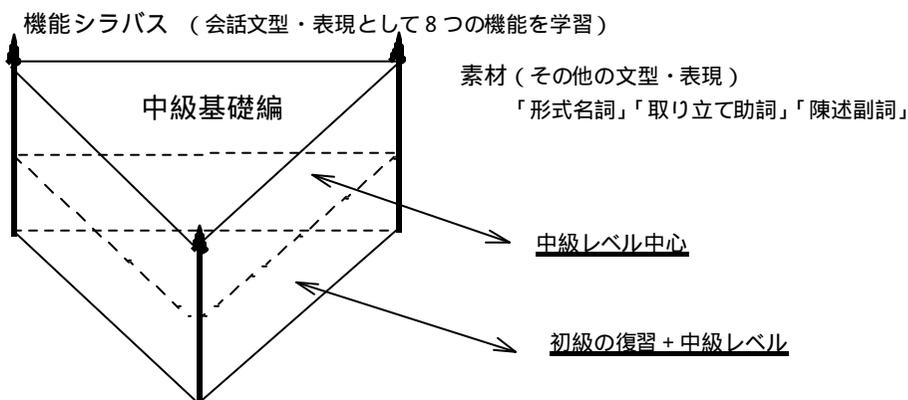
第2の柱（機能シラバス）

- ・「会話文型・表現」の章を設け、全体で8つの機能別の文型・表現が学習できる。
- ・「すぐに使える会話表現」として、モデル会話とポイントとなる文型・表現とその例文がある。

第3の柱（コミュニケーションのための素材）

- ・[その他の文型・表現]として学習する項目の中に「形式名詞」と「取り立て助詞」「陳述の副詞」が含まれており、第1の柱と同様に段階的に学習できるように配置してある。
- ・「形式名詞」については今後の中級～上級レベルで学習される文法（＝いわゆる機能語と呼ばれる複合辞）につながる基礎固めができるようになっている。
- ・あとの二つについては、口頭でのコミュニケーションをより豊かにするために、中級の基礎レベルのものを厳選して配置してある。

3つの柱の概念図



概念シラバス（10の概念を前半と後半に分けて段階的に学習）

読解スキル

本教科書の特徴として、5課ごとに長文読解練習を設けてある。それまでに学習した文型・表現を生かして「読む」練習をする課である。文法を学ぶために精読する文章ではなく、それまでに学習した文法などを生かして「読む」練習をする。同時に読解スキルを学べるようになっている。

発展

- ・各課ごとに応用発話のための設問、作文練習ができるようなトピックを提供している。
- ・本文、会話文はもちろん聴解練習のためのミニテストが付録のCDに録音されており、4技能を総合的に高めることができるようになっている。
- ・新出語は各課の本文、文型・表現で導入される以外に、関連語としてまとめられているものがあり、語彙を増やすことはもちろん、応用発話や作文などに役に立つように工夫されている。

各課の基本構成

- 【本文】各課の文型・表現を学習するための読み物。
- 【本文設問】本文の内容についての質問（1, 2, 3）と発話のための設問（ ）がある。
- 【本文新出語】本文で使われている単語のうち未習のものを品詞ごとに分類して提示。注2
- 〔基本動詞の用法〕基本動詞がどのような名詞と結びついて使われるか示す。
- 〔自動詞／他動詞〕その課に使われている自他動詞とその用例を示す。
- 【単語の意味の確認】本文で使われている単語を新出語を中心に意味を確認するための問題。
- 【文型・表現】学習する項目の提示と用例。注3
- 〔 の文型・表現〕概念シラバスの項目。
- 〔その他の文型・表現〕素材の項目。
- 【文型・表現の練習】短文完成の練習問題。
- 【作文練習】学習した文型を使ってある程度の長さの文章を書いてみるためにトピックを提供。
- 【関連語の学習】その課のテーマや内容と関連のある単語をまとめて提示。
- 【聴解ミニテスト】その課のテーマ、関連語とつながることが話題として取り上げられている。

注1：第6課以降は普通体の文章で書かれており、「である体」は17課で提出。

（中止法による文の接続は14課で提出）

注2：本教科書は『みんなの日本語』（スリーエーネットワーク）で扱われた文法、語彙を初級レベルの文法、既習の単語として扱っている。 、 は動詞のグループを示している。

注3：各文型の提示にあたって、動詞などの活用形の名称は注2の教科書の記述に従った。

表記について

常用漢字表（及びその音訓）にないものは原則として漢字表記はしていない。新出語は別に欄を設け、そこでルビを振って提示、文章の中にはルビは振られていない。一方、注2の初級教科書で既習の単語については、漢字が示されていたものは、ルビなしでその単語を使用し、漢字が示されていなかったものは、その単語の初出にのみルビが振られている。ただし、初級で漢字が示されていた単語でも、熟字訓のものは初出にのみルビが振られている。

標準的な教科書の使い方

本文新出語 ～ 単語の意味の確認

本文

文型・表現（本文の理解に必要なものを中心に）

文型・表現（残りのものを含めて全体）

練習問題（必要に応じて問題を補充する）

関連語の学習（必要に応じて）

聴解ミニテスト（聴解練習後、その内容を使った応用発話練習も可能）

テーマを発展させた応用発話／個別の表現を取り上げた応用会話練習など。

作文（授業中にできなければ宿題にする）

- ・5課ごとに（長文読解練習のあと）復習、定期テストなどを実施する。
- ・各ユニット（5課）に2回ずつある会話文型・表現は必要に応じて利用する。
 - 各ショートダイアローグを学習したのち、ロールプレイカードなどを利用して会話練習する。
 - 会話練習として利用しなくても、文型だけ取り上げて学習してもよい。

教科書の前半は初級の復習が多く含まれているので、その扱い方によって本教科書にかかる時間も異なってくるが、メインの教科書として使用する場合には3ヶ月でほぼ終了できるようになっている。

CDの内容・トラック番号一覧表



| 課 | 内 容 | <CD 1> トラック番号 | 課 | 内 容 | <CD 2> トラック番号 |
|----|--|----------------------------|-----|---|----------------------------------|
| 1 | 本文 聴解ミニテスト | 1 ~ 4 5 ~ 7 | 1 1 | 本文 聴解ミニテスト | 1 ~ 4 5 ~ 7 |
| 2 | 本文 聴解ミニテスト | 8 ~ 10 11 ~ 13 | 1 2 | 本文 聴解ミニテスト | 8 ~ 10 11 ~ 13 |
| 3 | 本文 聴解ミニテスト | 14 ~ 16 17 ~ 19 | 1 3 | 本文 聴解ミニテスト | 14 ~ 17 18 ~ 20 |
| | 会話文型・表現 1 ・会話 1 ・会話 2 ・会話 3 | 20 21 22 | | 会話文型・表現 5 ・会話 1 ・会話 2 ・会話 3 ・会話 4 ・会話 5 | 21・22 23 24 25 26 |
| 4 | 本文 聴解ミニテスト | 23 ~ 26 27 ~ 29 | 1 4 | 本文 聴解ミニテスト | 27 ~ 29 30 ~ 32 |
| 5 | 本文 聴解ミニテスト | 30 ~ 32 33 ~ 35 | 1 5 | 本文 聴解ミニテスト | 33 ~ 36 37 ~ 39 |
| | 会話文型・表現 2 ・会話 1 ・会話 2 ・会話 3 ・会話 4 | 36 37 38 39 | | 会話文型・表現 6 ・会話 1 ・会話 2 ・会話 3 | 40 41 42 |
| | 長文読解練習 1 | 40 ~ 44 | | 長文読解練習 3 | 43 ~ 48 |
| 6 | 本文 聴解ミニテスト | 45 ~ 48 49 ~ 51 | 1 6 | 本文 聴解ミニテスト | 49 ~ 52 53 ~ 55 |
| 7 | 本文 聴解ミニテスト | 52 ~ 55 56 ~ 58 | 1 7 | 本文 聴解ミニテスト | 56 ~ 59 60 ~ 62 |
| 8 | 本文 聴解ミニテスト | 59 ~ 63 64 ~ 66 | 1 8 | 本文 聴解ミニテスト | 63 ~ 66 67 ~ 69 |
| | 会話文型・表現 3 ・会話 1 ・会話 2 ・会話 3 ・会話 4 ・会話 5 | 67 68 69 70 71 | | 会話文型・表現 7 ・会話 1 ・会話 2 ・会話 3 ・会話 4 ・会話 5 ・会話 6 | 70 71 72 73 74 75 |
| 9 | 本文 聴解ミニテスト | 72 ~ 75 76 ~ 78 | 1 9 | 本文 聴解ミニテスト | 76 ~ 79 80 ~ 82 |
| 10 | 本文 聴解ミニテスト | 79 ~ 82 83 ~ 85 | 2 0 | 本文 聴解ミニテスト | 83 ~ 86 87 ~ 89 |
| | 会話文型・表現 4 ・会話 1 ・会話 2 ・会話 3 ・会話 4 | 86・87 88 89 90 | | 会話文型・表現 8 ・会話 1 ・会話 2 ・会話 3 ・会話 4 ・会話 5 | 90 91 92 93 94 |
| | 長文読解練習 2 | 91 ~ 98 | | 長文読解練習 4 | 95 ~ 99 |

目 次

| | |
|--|-----|
| 第 1 課 比較 (1) [色のイメージ] | 1 |
| 第 2 課 様子・類似 (1) [世界のじゃんけん] | 9 |
| 第 3 課 程度・変化 (1) [不便な駐車場] | 17 |
| <u>会話文型・表現 1</u> [難しかったんじゃない?] | 25 |
| - 考えを言う - | |
| 第 4 課 対比・逆接 (1) [アナウンスと親切] | 29 |
| 第 5 課 伝聞 (1) [タイムカプセル] | 37 |
| <u>会話文型・表現 2</u> [早く終わらないかな] | 45 |
| - 願望・希望 - | |
| <u>長文 読解練習 1</u> [似 顔 絵] | 49 |
| 第 6 課 時 (1) [夢の自動運転] | 55 |
| 第 7 課 様子・推測 (1) [ギネスブックに挑戦] | 65 |
| 第 8 課 予想・期待 (1) [100%の占い師] | 73 |
| <u>会話文型・表現 3</u> [貸していただけませんか] | 82 |
| - 頼む - | |
| 第 9 課 原因・理由 (1) [やる気] | 85 |
| 第 10 課 原因・理由 (2) [しょうがない] | 95 |
| <u>会話文型・表現 4</u> [一緒にいかがですか] | 103 |
| - 誘う、受ける / 断る - | |
| <u>長文 読解練習 2</u> [平均という言葉の意味] | 107 |

| | | | | |
|------|-----------------|-----|-------------------|-----|
| 第11課 | 比較 | (2) | ・[いろいろな選択] | 111 |
| 第12課 | 様子・類似 | (2) | ・[格言・名言] | 119 |
| 第13課 | 程度・変化 | (2) | ・[子供の時の夢] | 127 |
| | 会話文型・表現5 | | ・[手伝いましょうか] | 135 |
| | | | - 申し出る、感謝する - | |
| 第14課 | 対比・逆接 | (2) | ・[笑いの効果] | 139 |
| 第15課 | 伝聞 | (2) | ・[絵はがき～富士登山] | 147 |
| | 会話文型・表現6 | | ・[欠席すると伝えてください] | 154 |
| | | | - 伝言を頼む・伝える - | |
| | 長文 読解練習3 | | ・[犬と人間] | 157 |
| 第16課 | 時 | (2) | ・[梅 雨] | 161 |
| 第17課 | 様子・推測 | (2) | ・[トリックアート] | 169 |
| 第18課 | 予想・期待 | (2) | ・[行列のできる店] | 179 |
| | 会話文型・表現7 | | ・[ちょっと借りてもいい?] | 187 |
| | | | - 許可を求める・応じる/断る - | |
| 第19課 | 原因・理由 | (3) | ・[素朴な疑問] | 191 |
| 第20課 | 説明・結論 | | ・[車のコミュニケーション] | 199 |
| | 会話文型・表現8 | | ・[先生に聞いてみたらどうですか] | 209 |
| | | | - 提案・助言する - | |
| | 長文 読解練習4 | | ・[コンビニの前の風景] | 213 |
| 索 引 | | | | 218 |

文型・表現シラバス一覧表

< 付録 >

- ・ 聴解ミニテスト スクリプト・解答
文型・表現練習の解答例
- ・ CD (2枚組)